

## 経営寺子屋・第23回 オープン・イノベーション①富士フィルム

NPOマネジメント共育ネットワーク（MCN）が主催する「経営寺子屋」第23回は、2022年11月19日（土）午後、都内四谷のPatiaで開催されました。

今回は「オープン・イノベーション」をテーマとした新シリーズの初回で、研究対象は「富士フィルム」。また化粧品「アフタリスト」に代表される、その見事な企業転身の中心人物の一人で、現在は先端技術研究所のイノベーション・アーキテクトを務める中村善貞氏に、当日の講師をお願いしました。

またそれは昭和の創業に始まり、戦後の急成長の後に訪れた、激しいデジタル化との戦いを含むダイナミックな物語でしたが、世界の巨人コダックとは対照的に、それまで培ってきた技術を応用し、激動の時代を巧みに生き抜くヒントに溢れた講話でした。そのため、引き続き質疑応答も活発で、中村氏からさらに多くの知見を引き出すことができました。

以上のように、我が国の産業界が直面する課題、「オープン・イノベーション」の実践に向け、今回の新シリーズが大きく貢献することを、参加者が確信できた半日となりました。

以上

NPOマネジメント共育ネットワーク主催

第23回経営寺子屋 オープンイノベーション①

『富士フィルムの事業転換とオープンイノベーション』

講師：中村善貞氏

Why FUJIFILM?

写真フィルムはかつて、米コダック、独アグファ、日コニカおよび富士フィルムの4社しか製造できなかった技術力の塊のようなビジネスでした。

しかしデジタル化の波でコダックは破綻・コニカはミノルタとの経営統合で生き残りをかける中、中村氏と富士フィルムは写真で培った独自技術を応用し、大ヒット化粧品「アフタリスト」を誕生させました。

今回の寺子屋ではVUCA時代の今だからこそ必要な企業の在り方を変えたイノベーションについて議論を深めたいと思います

◇日時：2022年11月19日（土）15:00～17:30（14:30受付開始）

◇場所：Patia 四ツ谷店 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目17 MEISTER四谷 1F

◇定員：20名様（先着）

◇参加費：3000円（軽い飲食が含まれています。）

空に赤い煙



講師プロフィール

1958年生まれ。京都大学大学院工学研究科修了。大学院時代から有機化学を研究し、その経験を活かして1984年、富士フィルムに入社。写真用フィルムやプリント材料用の素材や製品開発の研究部門に所属したのち、ライフサイエンス研究所へ。事業化に向けた富士フィルムの技術の応用を目指し、日夜構築にいそんでいる。

